



J J A
JEWELLERY
DESIGN
AWARDS
2025



一般社団法人日本ジュエリー協会



入賞作品 展示	2025 年 8 月 27 日～ 8 月 29 日 ジャパンジュエリーフェア2025 (JJF2025) 東京ビッグサイト 東5・6 ホール アワード入賞作品展示会場	主 催 後 援	一般社団法人日本ジュエリー協会 経済産業省／厚生労働省／文化庁／東京都／ 山梨県／台東区／日本貿易振興機構 (ジェトロ)／ 日本商工会議所／読売新聞社
	2025 年 9 月 18 日～10 月 13 日 山梨ジュエリーミュージアム 企画展示室		
		協 賛	公益社団法人日本ジュエリーデザイナー協会／ 一般社団法人日本真珠振興会／ プラチナ・ギルド・インターナショナル株式会社

日本のジュエリーの可能性を求めて

JJA ジュエリーデザインアワード 2025

JJA ジュエリーデザインアワードは、日本で最も権威あるジュエリーコンペティションとして、グランプリ・内閣総理大臣賞受賞作品を筆頭に、デザイナー・クラフトマンの才能を国内外へと発信していく場です。日本には美しい文化と伝統を背景に、ものづくりの良さとデザイン力を誇る数多くのクリエイターが存在します。本アワードは、未来のジュエリー業界を牽引する、新しい可能性を持つクリエイターの優れた作品を広く募集し、日本のジュエリーの可能性を求め続けます。

本アワードは二部門で構成されております。第1部門「プロフェッショナル部門」ではデザイン・技術・品質を兼ね備え、創造性豊かな芸術性・ファッション性の高いジュエリーであるか、第2部門「新人部門」では、新人・学生を対象に、新人らしいフレッシュな感性より創造された芸術性・ファッション性の高いジュエリーであるかを審査の基準としています。

今年度はジャパンジュエリーフェアで受賞作品を展示し、グランプリ・準グランプリ受賞作品を『VOGUE JAPAN』誌面タイアップ記事(9月1日(月)発売予定10月号・2ページ)・Web(9月1日(月)～)に掲載いたします。

ご挨拶



一般社団法人
日本ジュエリー協会 会長

長堀 慶太

Nagahori Keita

一般社団法人日本ジュエリー協会は、日本のジュエリーの発展とクリエイターの才能を国内外に発信することを目的に「JJA ジュエリーデザインアワード」を実施しております。このアワードは当初(第1回1989年)より数えますと第26回となり極めて歴史あるコンペティションです。

今年度も内閣総理大臣・ジュエリー議員連盟・経済産業省・厚生労働省・文化庁・東京都・山梨県・台東区・日本貿易振興機構・日本商工会議所・読売新聞社・公益社団法人日本ジュエリーデザイナー協会・一般社団法人日本真珠振興会・プラチナ・ギルド・インターナショナル株式会社と多方面からのご支援をいただきました。

本アワードは、美しい文化と伝統を背景に、高い技術とデザインの優れたジュエリーを求めることで、未来のジュエリー業界を担う新人発掘の場ともなっています。

今回も第1部門「プロフェッショナル部門」、第2部門「新人部門」の二つの部門を設け、全国から103点61作品と多くの応募をいただきました。第1部門においては、大きさや豪華さにとらわれないよう、「ハイレンド・ラグジュアリー」「アクセシブル・ラグジュアリー」の二つのテーマを設定したことで、デザイン・技術・品質を兼ね備えた創造性豊かな芸術性・ファッション性の高い作品の増加に寄与しています。この作品の中から、各審査員の厳しい審査のもと「グランプリ・内閣総理大臣賞」「準グランプリ・経済産業大臣賞」「準グランプリ・厚生労働大臣賞」「東京都知事賞」「山梨県知事賞」「台東区長賞」「日本商工会議所会頭賞」「新人大賞」をはじめとした各賞が選ばれました。今年度も、技術力の高さはもちろんのこと、斬新な表現の作品が多く出品されました。これまで同様、各方面でご活躍の方々に作品審査をお願いしたことに加え、ゲスト審査員として『VOGUE JAPAN』編集部の方々にも参加していただきました。それぞれの視点で「ファッションとしてのジュエリー」「時代を反映したジュエリー」「身に着ける人を高揚させるジュエリー」など、高度なレベルで真摯に審査いただき深く感謝しております。

一般社団法人日本ジュエリー協会は、これからも時流の変化に即応し、日本における最高峰のジュエリーコンテストとして、デザインアワードのさらなる発展を目指してまいります。



『VOGUE JAPAN』
編集部

ファッショントレンドの多様化が進む今、ジュエリーの不変性や希少性は、ますますその存在感と価値を際立たせています。今回、審査を通じて拝見した作品はいずれも、作り手の感性とビジョンが瑞々しく息づき、ジュエリーという小さな世界の中に彩り豊かな物語が込められていました。そのひとつひとつが、見る人、そして身に纏う人の心を動かし、ときに新たな視点をもたらしてくれる——その力を、改めて感じる機会となりました。ゲスト審査員賞に選ばせていただいたイヤーフックは、自然の恵みと光と影のコントラストを巧みに表現しながら、自由に、そして自分らしくジュエリーを楽しむ今のファッション的ムードを的確に捉えた、まさに VOGUE JAPAN の美意識と共鳴する作品だと感じています。ジュエリーは、時代の空気感や“個”の精神を力強く語るもの。そんな新しい表現を生み出す次世代ジュエリーデザイナーの皆さまの挑戦を、これからも応援してまいります。



国立西洋美術館 主任研究員

飯塚 隆
Iizuka Takashi

ゲルハルト・リヒター（1932-）は「最後の画家」と称されることがあります。その美術史的・思想的背景はさておき、現代において「絵を描くとはどういうことか」という根本的な問いが立てられているようです。その問いは、絵画における積み重なる変革をもたらしたものかもしれませんが。もしその答えが見つからなかったら、それは「絵画の終焉」を意味するのでしょうか。翻って「最後のジュエリーデザイナー」というのは耳にしたことがありません。でもそれは、デザインにおける変革がなかったからではないでしょう。ジュエリーは人が身につけるもの——この厳然とした枠組みが、デザインに永遠の命と課題を与えているのだと思います。なんととなれば、6000年以上さかのぼる人類最古の金のジュエリーは、その時すでにデザインされていたのです。したがって今から 6000 年たっても、「ジュエリーの終焉」が訪れることはないでしょう。だからこそ「デザインするとはどういうことか」という根本的な問いに対し、ジュエリーデザイナーの皆さまが真剣に、でも安心して、今後向き合うことを心より期待します。



クリエイティブディレクター
／デザイナー

辰野 しずか
Tatsuno Shizuka

これまでにプロダクトや工芸の分野で審査を担当する機会はありませんでしたが、ジュエリーの審査は今回が初めてでした。そのため、事前にジュエリーの加工工房やギャラリーを訪ね、制作工程や表現の背景について理解を深めてから臨みました。作品を拝見して印象的だったのは、造形の美しさに加え、実際に身につけた際の佇まいや使用感にまで配慮がなされている作品が多く見受けられたことです。今年の審査では、そうした視点も自然と意見が交わされ、理解を深める対話が生まれていました。また、作り手の想いや信念が、素材や構成、意匠の選択に反映された作品には特有の存在感がありました。「これを形にしたかった」という意志や、「この作品を生んだ人物に会ってみたい」と感じさせる個の力をもつ作品に、自然と評価が集まる傾向がありました。ジュエリーという表現が、意匠の美しさを超えて、身につける人の内面や生き方と深く結びつくものであることを実感しました。



ジュエリークラフトマン
卓越した技能者（現代の名工）

三塚 晴司
Mitsuka Haruji

この度、JJA ジュエリーデザインアワード 2025 の審査員の大役を務めさせて頂きました。緊張して審査会場に入ると作品からのエネルギーが渦巻いていて何故か懐かしい熱量を感じました。一点一点手に取って全ての作品を見せて頂きました。第 1 部門のテーマ A、テーマ B では空間を十分に生かしたデザイン、石の使用方法などプロの部門らしい作品が目を楽しませてくれました。新人部門では全体に若々しい作品が多く大胆なデザインに技術面が追いつかず、それでも工夫して仕上げて出品されていました。部分的にでもアドバイスする方がいればもっと良い作品になるのではと思いました。全ての作品から作る事の幸せと希望を感じる事ができ、このような機会を頂き大変光栄に思っております。

審査員 講評



ジュエリークラフトマン

西澤 明宏

Nishizawa Akihiro

この度初めてJJAジュエリーデザインアワード審査会に参加させて頂きました。素晴らしい作品群を目の当たりにし、大変な緊張と責任感を覚えながら一つ一つ丁寧に審査させて頂きました。初見の印象を大事にし、良いと思ったものは手に取り全方向から細部にわたるまで観察して作者の熱量を最大限感じるように努めました。審査にあたっては、自身が制作時や委託品のお手伝いの際に重視していることや気を付けていること、後進の指導で心掛けていることなどを私の基準と致しました。グランプリを受賞された作品「Black&White」、白と黒が織りなす2色の構造体が可視 / 不可視、あるいは有象無象を連想させる構成でデザインの的にも非常にスタイリッシュな作品であると思いました。作り、留め、仕上げ等どれを取ってみても非の打ち所なく、特にイヤークフの開閉機構などは気持ちよい動作で、技術力の高さを感じました。新人大賞を受賞した「ゾウムシ」、昆虫はリアル方向に寄せるとジュエリーというより工芸になってしまいますが、そうならないギリギリのシルエットと、背中的一部分を取り換え可能なポップなパーツで様々な印象の変化が見て取れる点がユニークだと思いました。入賞された方々は勿論のこと、賞には届かなかった方も今後も引き続き更なる飛躍を目指して日々鍛錬されることを期待しております。



公益社団法人日本ジュエリー
デザイナー協会 理事*

長井 豊

Nagai Yutaka

私は2023年のアワード審査に引き続き今回2度目の審査員を務めさせて頂きました。今回の展示作品全体の第一印象は前回と比べやや地味になったような印象を受けましたが、金価格の高騰や世界情勢を考えれば、むしろそれが時代を映す鏡としてのジュエリーの姿ではないかと感じております。アワードの場では資金力がある参加者は当然豪華な作風となり其れがアワードの華やかさを盛り上げていた様に思いますが、今回の応募作品はむしろ控えめな表現の中での付加価値の真価が問われていたように感じました。今回私が特別賞に選ばせていただいた作品はアンリ・ルソーの絵画からインスパイアされた作品で、奇をてらったデザインでも自己主張の強いデザインでもありませんが、私はルソー絵画の持つ素朴で自然な心地良さのエッセンスを感じ取りました。プラチナとトルマリンとダイヤモンドという3つの素材が洗練されたデザインと的確な技術によって一体化され、深い調和を生み出した心に残る作品だと思います。



ジュエリーデザイナー

小寺 智子

Koderu Tomoko

前回に比べ応募数はやや少なかったものの、地金価格の高騰など厳しい状況の中で寄せられた作品からは、創作への強い意欲と誠実な眼差しが感じられました。全体として小ぶりの作品が多い印象でしたが、繊細なデザインや高度な加工技術が随所に見られ、制約を活かした工夫が光っていました。イヤークフ等のファッション性の高いアイテムも多く、ジュエリーの新しい可能性に挑戦する次世代デザイナーの熱意に心を打たれました。作品は一点一点丁寧に吟味され、最終審査では審査員の意見が一致するまで何度も議論を重ねました。こうして受賞された皆様には敬意を表します。どうぞご自身に誇りを持って下さい。また惜しくも入選に届かなかった方々も、次のアワードに向けて力を蓄え創作を楽しみ続けて下さい。

審査員一覧（敬称略）

ゲスト審査員	『VOGUE JAPAN』編集部		
審査員	飯塚 隆	国立西洋美術館 主任研究員	
審査員	辰野 しずか	クリエイティブディレクター／デザイナー	
審査員	三塚 晴司	ジュエリークラフトマン 卓越した技能者（現代の名工）	
審査員	西澤 明宏	ジュエリークラフトマン	
審査員	長井 豊	公益社団法人日本ジュエリーデザイナー協会 理事*	
審査員	小寺 智子	ジュエリーデザイナー	
特別賞選定員	『VOGUE JAPAN』編集部		
特別賞選定員	長井 豊	公益社団法人日本ジュエリーデザイナー協会 理事*	
特別賞選定員	金子 康男	一般社団法人日本真珠振興会 理事	
特別賞選定員	ハンキンソン 尚子	プラチナ・ギルド・インターナショナル株式会社 代表取締役社長	

* 審査当時は会長

応募作品・点数

第1部門 「プロフェッショナル部門」			
テーマA：ハイエンド・ラグジュアリー		12作品	17点
テーマB：アクセシブル・ラグジュアリー （上質な日常使い）		15作品	25点
第2部門 「新人部門」		34作品	61点
合計		61作品	103点
入賞作品		23作品	41点

第 1 部門 プロフェッショナル部門

グランプリ・内閣総理大臣賞

準グランプリ・経済産業大臣賞

準グランプリ・厚生労働大臣賞

東京都知事賞

山梨県知事賞

台東区長賞

日本商工会議所会頭賞

*作品情報の見方…アイテム／素材（品位）／主要石／補助石／テーマ（第 1 部門のみ）



バンダラ・リング・イヤークラセット / K18WG・黒色ルテニウムめっき / ダイヤモンド / あこや真珠 / テーマ A

グランプリ・内閣総理大臣賞／日本真珠振興会会長賞

Grand Prize and Prime Minister's Award / Japan Pearl Promotion Society President Award



「Black&White ー見えないものを観る」

〔製作者〕 今与 アトリエ室 〔応募者〕 株式会社今与



雲間から姿をあらわす龍を、白砂と黒砂で表現した、龍吟庵庭園。
やどりしは、目に見えないものを観るという日本の美と心。
黒と白は、陰と陽、光と影、男と女、盾と矛、天と地、相反するもの。
そしてその調和。
カタチを構成する線（ライン）は、宇宙のリズムとつながる砂紋。
線はやがて形を成し、形は意味を超え心に届くべく、身に纏えるジュエリーに。
美しきとは、見えないものを感じる心に生まれるもの。

デザイナー

沢村 つか沙

Sawamura Tsukasa

[E-mail]

t-sawamura@imayo.co.jp

立命館大学 法学部 卒業

2001 年 Goldsmith & Craftsmanship award UK 推薦賞

2007 年 英国宝石学協会 FGAディプロマ取得

2012 年 ワールドジュエリーデザインアワード 2011 大賞

2016 年 JJA ジュエリーデザインアワード 東京都知事賞

2018 年 JJA ジュエリーデザインアワード 厚生労働大臣賞 / 技術賞

2021 年 JJA ジュエリーデザインアワード 準グランプリ・厚生労働大臣賞



ピアス・リングセット / Pt900・Pt950/ トルマリン / ダイヤモンド / テーマB



準グランプリ・経済産業大臣賞／日本ジュエリーデザイナー協会会長賞／
プラチナ・ギルド・インターナショナル賞

Semi-Grand Prize and Economy, Trade and Industry Minister's Award/
Japan Jewellery Designers Association President Award/Platinum Guild International Award



デザイナー

松村 珠世

Matsumura Tamayo

「アンリ・ルソー 幻緑」

〔製作者 / 応募者〕 株式会社ナガホリ

アンリ・ルソーの絵画にある素朴でありながら力強い不思議な魅力に心を惹かれました。

素朴さには人の身体と心に寄り添うようなあたたかい力を感じます。

目に映る緑はただの色ではなく記憶や感情の層。

トルマリンの色と形に拘り、あたたかさの調和と奥行きを表現しました。

絵画の中からこぼれ落ちた、そんなひとかけらのように。

1996 年 ヒコ・みづのジュエリーカレッジ 卒業

1996 年 株式会社ナガホリ 入社

2019 年 JJA ジュエリーデザインアワード 台東区長賞受賞

2021 年 JJA ジュエリーデザインアワード

山梨県知事賞 / プラチナ・ギルド・インターナショナル賞



イヤーフック /Pt950・Pt850・K18/ クォーツ/ テーマA



準グランプリ・厚生労働大臣賞／ゲスト審査員賞

Semi-Grand Prize and Health, Labour and Welfare Minister's Award / Guest Judge's Award



デザイナー

氷影デザインチーム

遠藤 太一

Hyoei Design Team
Endo Taichi

[E-mail]

tendo@kohsai-qq.co.jp

「氷影 -HYOU-EI-」

[製作者] 氷影デザインチーム [応募者] 株式会社光・彩

大自然が創り出した神秘の溶岩洞、鳴沢氷穴がモチーフ。

氷柱が陰影を纏い、煌めく瞬間の静謐さを、ジュエリーという小さな宇宙に凝縮しました。

重厚感ある地金をベースに天然石を織り交ぜ、「鍛造ジュエリーでしか魅せることが出来ない新しい世界」を追求しました。チーム全員のこだわりが具現化した作品となっています。

1988 年 山梨県生まれ

2015 年 株式会社光・彩 入社

2023 年 JJA ジュエリーデザインアワード 2023

台東区長賞／プラチナ・ギルド・インターナショナル賞

2024 年 氷影プロジェクトリーダー 就任



ブローチ /Pt950・Pt900/ ダイヤモンド/テーマB

東京都知事賞

Governor of Tokyo Award



デザイナー

花岡 久深子

Hanaoka Kumiko

「Twill・綾」

〔製作者〕株式会社アベジュエリー 高橋 潤 〔応募者〕株式会社CAFERING

幸せの象徴として空色のリボンをデザイン。風になびくリボンの様子を、軽やかで躍動感あるフォルムで表現しました。
リボンのような軽やかさで装着できるよう従来のブローチ金具を無くし、洋服にリボンを織り込んだように装えるのが特徴です。
身に着けたときに洋服の一部となるような、装う美しさを目指しています。

1990年 ヒコ・みづのジュエリーカレッジ 卒業
2010年 株式会社CAFERING 入社



ネックレス /K18YG・K18PG・K18WG/ ダイヤモンド /ルビー /テーマB

山梨県知事賞

Governor of Yamanashi Award



デザイナー

藤島 政子

Fujishima Masako

[E-mail]
info@emu.co.jp

「風の旋律」

〔製作者〕藤島 政子 〔応募者〕有限会社絵夢

見えない風を、18金の帯で表現しました。
強く、優しく、自由自在に流れ吹く風。
風と戯れる蝶と花で、爽やかな風を肌感じてほしい。

1973年 ヒコ・みづのジュエリーカレッジ 修了
1974年 坂口ジュエリーデザインコンペ 入選
1991年 有限会社絵夢 専務取締役 就任
1999年 インターナショナルパールデザインコンテスト 佳作
2000年 日本ジュエリーアート展 入選



リング / K18 / ダイヤモンド / テーマ B

台東区長賞

Mayor of Taito City Award



デザイナー

岩崎 光則

Iwasaki Mitsunori

「黄金の調和」

〔製作者〕 山田 陽一 〔応募者〕 ソマ株式会社

風力発電からヒントを得まして、回転するデザインのものを作りたいとこの「黄金の調和」が生まれました。
端のリングを回転させると 16 個の歯車が回る仕組みですが、すべてを回すことが難しく大変苦労しました。
是非、ダイヤ入りの全ての歯車が回転する心地良さを体験していただければと思います。

1967 年 福島県生まれ
1986 年 ソマ株式会社 入社



リング / Pt900・K18YG・黒色ルテニウムめっき / パライバ・トルマリン / ダイヤモンド・サファイア / テーマ B

日本商工会議所会頭賞

Chairman of the Japan Chamber of Commerce and Industry Award



デザイナー

古屋 一樹

Furuya Kazuki

[E-mail]
info@furuya-kiseki.co.jp

「風の時代」

〔製作者〕 古屋 一樹 〔応募者〕 有限会社古屋貴石商会

風の時代をしなやかに生きる人の姿を表現しました。
中央へ非加熱パライバトルマリンを配し、ダイヤモンドとサファイアで包み込みどんな時も自分らしく輝く…そんな現代人の強さと美しさを象徴しています。
裏側へは金の線細工で風の渦を施し、美と装着感を追求しました。
山梨の熟練職人達の経験と技術の結晶です。

2000 年 GIA GG 取得
2002 年 有限会社古屋貴石商会 入社

第 2 部門 新人部門

新人大賞

新人優秀賞



新人大賞

New Talent Grand Award



デザイナー

鶴見 蓮

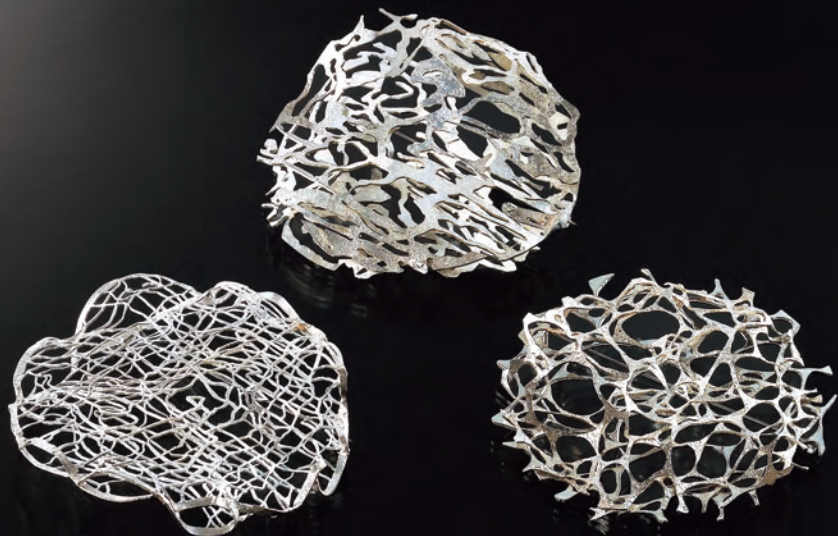
Tsurumi Ren

「ゾウムシ」

〔製作者〕 鶴見 蓮

ゾウムシは、種類ごとに多様な色彩や造形が存在する昆虫です。その多様性を様々な技法を用いて表現し、ネジを使った着せ替えでバリエーションを楽しめる仕様にしました。本体のボディを打ち出しで成形したり、カボション石の研磨をしたりなど、ひとつひとつの制作工程にもこだわった作品です。

2003 年 山梨県生まれ
2025 年 山梨県立宝石美術専門学校 卒業



ブローチセット /SV・洋白



ブローチセット /SV925・金めっき

新人優秀賞

Award of Excellence for New Talent Prize



デザイナー

村上 愛

Murakami Ai

[E-mail]

ai.mrkm.art@gmail.com

「揺らぎ」

[製作者] 村上 愛

光と心を映す、静謐のジュエリー。

そっと揺れる水面に、心の輪郭が浮かぶ。感情の透明さと、他者を映す妖艶さを纏うブローチコレクションです。

水が光を受けてきらめくように、揺れ動く心もまた、美しいもの。繊細に捉えた光の反射が、身につけた人の内に秘める静けさと共鳴し、凜とした存在感を放ちます。

2004 年 兵庫県生まれ
2022 年 高等学校デザインコンテスト 校長賞 (大阪校) Jewelry 部門
2023 年 兵庫県立明石高等学校 美術科 卒業
2023 年 グループ展「明石高校 100 周年記念美術展」(横浜・兵庫県)
2024 年 須磨パティオ中庭アートデザインプロジェクト 入選 (神戸)
2025 年 グループ展「20 歳展」(兵庫県)
2025 年 展覧会「韓国・日本国際交流展」(ソウル)

新人優秀賞

Award of Excellence for New Talent Prize



デザイナー

土田 里彩子

Tsuchida Risako

「unfold」

[製作者] 土田 里彩子

紙の緩衝材から着想を得て制作しました。平面的な紙が広がり、思いもよらない立体的な形になることに面白さを感じました。

金属に切れ込みを入れて広げることで、柔らかく立体的な形が生まれました。

5つのフォルムが、それぞれ異なる広がりを見せ、身にまとう人の動きや光の加減により、表情を変えていきます。

2004 年 神奈川県生まれ
2024 年 2024 伊丹国際クラフト展「酒器・酒盃台」入選
2025 年 山梨県立宝石美術専門学校 在学中



ネックレス /SV950

新人優秀賞

Award of Excellence for New Talent Prize



デザイナー

小杉 きら

Kosugi Kira

「curve」

〔製作者〕小杉 きら

曲線の美しさをテーマに、自分の理想とする曲線美を追求いたしました。
制作にあたり、交差する線と板の組み合わせにより、美しい空間を
生み出し、重さや密度のバランスにも配慮いたしました。デザイン
はシンプルながらも存在感のある作品にいたしました。

2005 年 神奈川生まれ

2023 年 山脇美術専門学校 入学

2024 年 「第 33 回 2024 日本ジュエリー展」 under26 部門 入選



イヤーフック /SV925・金めっき・アクリル塗料 /CZ/ イエロー・サファイア・クロム・トルマリン

入選／ジュエリー議員連盟賞

Nominated / Parliamentary Association for Jewellery Award

「Citrus Mirage」

【製作者】ズイモン 清

日常の中で忘れていく自然のものを、ジュエリーという美の世界へ落とし込んだ作品を目指しました。
皮にネジ止めされた花と蕾は、白のアクセントで自然体を演出するよう心がけました。

デザイナー

ズイモン 清

Simon Kiyoshi



ネックレス /SV950/ ガーネット

入選

Nominated

「Chain Tie」

【製作者】長沼 眞白

鎖帷子をモチーフに「自分を守るジュエリー」をテーマに制作しました。
ネックレス部分・ノット部分・剣先部分で丸カンの大きさや編み方を変えることで、構造に緩急をつけ、視覚的にも飽きのこない造形を目指しました。全体のバランスを意識しながら、装飾性と強さが共存する表現を探りました。

デザイナー

長沼 眞白

Naganuma Mashiro



ボディーリング /SV950/CZ

入選

Nominated

「Sunlight」

【製作者】 赤穂 まろん

クモの巣の露が朝日に照らされる様子が美しいと感じ、繊細で壊れやすいものをジュエリーにする事で、自然が作り出す美しさを表現しました。

三角の線と沢山のシャカ玉と石が、クモの巣全体が光を反射し輝いている様子を表しています。背中中のラインを美しく見せる為に、下の2本を添わせ上の2本で動きを作りました。

デザイナー

赤穂 まろん

Akaho Maron

[E-mail]

2023j001akahomaron@st.yamawaki.ac.jp



髪飾り・イヤーフック・リングセット /SV950・SV925/ クォーツ

入選

Nominated

「木陰」

【製作者】 石原 寧織

木陰がもたらす、穏やかで美しい空間をジュエリーに。

重なり合う葉はシルバーで、煌めく木漏れ日は自ら研磨した水晶で表現した。

身につける人にそっと寄り添い、まるで木陰に包まれるような安心感と心地よさを与える。

デザイナー

石原 寧織

Ishihara Neo



リングセット /SV925・硫化剤 / 淡水真珠

入選

Nominated

「光の天使と墮天使」

【製作者】王 璐

リングをデザインする際、私はパロックパールを使用しました。それぞれのパールは形が異なっていて、まるでこの世に全く同じ2人などいないかのようです。このユニークさは私に人間性の複雑さを思い出させます。大天使と墮天使のテーマも私にインスピレーションを与え、人間性の中に善悪が共存することを象徴しています。

デザイナー

王 璐

WANG LU

[E-mail]

melody1225013@gmail.com



ピアス / ステンレス・ガラス・アクリル・レジン / アコヤ真珠 / 雲母パウダー

入選

Nominated

「陽光に輝く、月に煌めく」

【製作者】山口 洋二

アコヤ真珠は、わずかな傷や形、照りの違いから希少な価値が十分に評価されないこともあります。そうした違いを個性とし、アコヤ真珠ならではの魅力を生かした、日常でもご使用頂けるシンプルで華やかなピアスです。4つの形や輝きから自由に組み合わせてお楽しみいただけます。

デザイナー

山口 洋二

Yamaguchi Yoji

[E-mail]

yoji.yamaguchi@gmail.com



ブローチセット /SV950・SV925・真鍮・洋白

入選

Nominated

「airy」

【製作者】北代 快大

制御と偶発、剛と柔、物質と認識に内在する二面性への問いを、この作品は投げかける作品です♡
手に取ると感じる重厚感と見た目の軽やかさのギャップを感じていただきたいです♡♡♡

デザイナー

北代 快大

Kitadai Kaito

[E-mail]
kitakai1211@icloud.com



ネックレス /SV925/ ブルー・トパーズ / アクアマリン・CZ

入選

Nominated

「朝露 —Morning Dew」

【製作者】谷 知子

朝露に濡れて輝くアイリスの姿をデザインしました。
自然の中で植物が見せる造形はいつも神秘的で、イマジネーションをかき立てられます。春の訪れを喜ぶ花々を添えて、ひと時の命の煌めきを表現しました。

デザイナー

谷 知子

Tani Tomoko

[E-mail]
tmknmtn@gmail.com



リングセット / 真鍮・金めっき

入選

Nominated

「カムフラージュ」

【製作者】 赤坂 朋哉

このリングは魚の群が光を反射し、自らを周囲の環境に擬態させ姿を隠す様子から着想を得て制作した。目立つためではなく、消えるために光するという、逆説的な美しさを表現するため、彫りとスタンプワークの二種類のテクスチャーを使い、光の当たり方によって多彩な表情を見せられるように工夫した。

デザイナー

赤坂 朋哉

Akasaka Tomoya



ネックレス /SV925・銅・七宝

入選

Nominated

「chiche・lale」

【製作者】 岡部 桃佳

父に貰った花束をモチーフに、七宝の技法を用いて多幸感溢れる温かみのあるジュエリーを表現しました。

作品のテーマは「枯れない思い」です。

植物はいつか枯れてしまうものだけど、色づいて美しい瞬間を切り取り、私の体験した瞬間的な楽しさや嬉しさをこめてジュエリーという形に残るアイテムとして残したいという思いで制作しました。

デザイナー

岡部 桃佳

Okabe Momoka



ブローチセット /SV・金めっき

入選

Nominated

「Brilliant」

【製作者】 遠藤 十二佳

光源を大きくボカすことで、キラキラとした円が見える通称「玉ボケ」。その美しい現象と、私の心象風景を形にしました。掘り崩した鏡面は、動くたびに周りの光や色、空間を拾い上げ、装着者をより煌びやかに魅せてくれると思い、制作しました。

デザイナー

遠藤 十二佳

Endo Tonika

[E-mail]
tonica12307@icloud.com



リングセット /SV950/ トルマリン

入選

Nominated

「Piece of Nature」

【製作者】 廣田 雪乃

鉱物は長い年月をかけて自然が生み出した造形美である。原石とシルバーという異なる素材を組み合わせることで、自然そのものを「身につけやすい形」として昇華した。

デザイナー

廣田 雪乃

Hirota Yukino

[E-mail]
yukino121899@ezweb.ne.jp

一般社団法人日本ジュエリー協会

撮 影	Studio A-Vipc
印 刷	エイト印刷株式会社
発行日	2025年8月27日
発 行	一般社団法人日本ジュエリー協会 〒110-8626 東京都台東区東上野 2-23-25 TEL : (03) 3835-8567 FAX : (03) 3839-6599 https://jja.ne.jp/ E-mail : ja@jja.ne.jp